

岡山大の脳死

肝腎移植終了

男性、容体安定

岡山大病院（岡山市北区鹿田町）で5日、肝不全と腎不全を患う20代男性Ⅱ広島県在住Ⅱへの脳死肝腎同時移植手術が行われ、無事終了した。容体は安定しているという。同病院の脳死肝腎同時移植は3例目。

八木孝仁・肝胆すい脾外科教授が執刀し、肝臓と片方の腎臓を移植。午前9時19分に始まり、午後7時46分に終了した。患者は肝臓が十分に機能せず、腎臓は動かず透析が必要な状態で、11月に日本臓器移植ネットワークに登録していた。

同ネットワークによると、ドナー（臓器提供者）は長崎大病院に頭部外傷で入院していた18歳以上の男性。（岸研一）